

大学を「研究・教育の場」として
更に活用するための組織的連携開始！

東京理科大学

社会連携講座制度

2020年4月
スタート！

これまでの連携方法

共同研究

- 担当教員との共同研究
- 契約を締結し、条件、役割等を明確化
- 研究成果は、原則共有

寄附講座

- 学内組織として講座を設置
- 希望の名称を冠することが可能
- あくまで「寄附」のため、研究成果は、大学に帰属

NEW

社会連携講座

- 共同研究と寄附講座の双方の機能を活用できる
- 契約に基づく組織間の多面的な共同研究の推進ができる
- 産学連携による教育研究を通じたイノベーション創出につながる

社会連携講座でできること

研究



- 契約に基づく共同研究の実施及び研究成果の共有
- 企業からの共同研究員の受入れ
- 新たな研究者の雇用
- 企業の名称等を冠した研究室の設置

教育



- 研究室における学生指導を通じた人材育成
- 企業の名称等を冠した授業科目等の開講（単位付与を含む）

名称



- 企業の名称等を冠した社会連携講座の設置
- 企業の名称等を冠した授業科目等の開講（単位付与を含む）
- 企業の名称等を冠した研究室の設置

お問合せ



東京理科大学 研究戦略・産学連携センター 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂一丁目3番地
TEL: 03-5228-7440 FAX: 03-5228-7441 e-mail: ura@admin.tus.ac.jp

東京理科大学との連携方法



企業の名称を冠した講座(研究室)を設置することができます



研究開発費

- 契約を締結し、条件、役割等を明確化します。
- 研究成果(知財)は原則共有となります。
- 研究内容を共同で検討することができます。

寄附金

- 契約の締結はありません。
- 研究成果(知財)は大学に帰属します。

研究シーズはこちらから

東京理科大学HP>研究>研究者情報DB[RIDAI][Pure]
https://www.tus.ac.jp/randd/research_db.html



研究者情報データベース(RIDAI)

東京理科大学の研究シーズはWebで公開しています。



研究者情報プロファイリングツール(Pure)

